

■ 災害履歴図について

災害履歴図は、地方公共団体や関係行政機関、研究機関、大学等が調査した水害、地震災害、土砂災害等の現地調査図等の資料より、調査地域内で過去に発生した災害による被害区域や被害箇所に関する情報を示した地図です。ここで提供する情報は、概ね5万分の1程度の縮尺レベルで作成されており、位置誤差を含むほか、地図上で表示をまとめたり省略したりしている場合があります。

また、引用する被害調査図等の資料が不十分なため、地図に掲載されていない災害もあります。被害の場所等を特定できない災害等については、別途災害年表や調査説明書に記載している場合がありますので、合わせて参照してください。

なお、災害発生後の堤防整備や下水道整備、地盤の改良等の防災対策が行われている場合などには、災害発生当時に比べて、現在は土地の安全性が向上している可能性がありますのでご留意願います。

東京東南部地区の災害履歴図の作成にあたっては、以下の資料を引用しました。

○災害履歴(水害)

1. 1958年9月水害

- ・1958(昭和33)年9月台風22号(狩野川台風)による東京都及び千葉県市川市の浸水区域を、東京都、同関係総合治水対策協議会及び千葉県市川市資料より編集。

2. 1966年6月水害

- ・1966(昭和41)年6月台風4号による東京都及び神奈川県浸水区域を、東京都の関係総合治水対策協議会資料(浸水実績図)及び神奈川県資料(神奈川県アボイドマップ)より編集。

3. 1982年9月水害

- ・1982(昭和57)年9月台風18号による東京都及び神奈川県浸水区域を、東京都の関係総合治水対策協議会資料(浸水実績図)及び神奈川県資料(神奈川県アボイドマップ)より編集。

○災害履歴(地震災害)

1. 1923年関東地震被害

- ・建物被害は、諸井孝文・武村雅之(2002)『関東地震(1923年9月1日)による木造住家被害データの整理と震度分布の推定』の被害集計値を、地震発生当時の市区町村のおおむねの位置にグラフ表示。
- ・液状化被害は、若松加寿江(2011)『日本の液状化履歴マップ 745-2008(DVD-ROM付)』より転載。
- ・津波の高さは、田中館秀三(1926)『関東大地震と海岸の昇降運動(其三)』及び震災予防調査会(1925)の値を当時の海岸線付近に表示。
- ・旧東京市の焼失区域は、内務省社会局(1926)『大正震災志』の付図「東京市震火災発火地点及焼失区域図」より転載。

○災害履歴(地盤沈下)

1. 地盤沈下観測点(水準点・水準基標配置)

- ・東京都土木技術支援・人材育成センター、神奈川県・横浜市・川崎市、千葉県の地盤沈下調査報告書より作成。

2. 地盤沈下の累積量・最大沈下量

- ・東京都土木技術支援・人材育成センター，神奈川県・横浜市・川崎市，千葉県の地盤沈下調査報告書より，昭和35（1960）年～昭和50（1975年）の累積沈下量とその期間の年間最大沈下量を集計し，期間を通算して観測データがある地点について表示.

3. 累積地盤沈下量分布図

- ・関東地区地盤沈下調査測量協議会作成の各時期の累積地盤沈下量図から編集.

「この地図の作成に当たっては，国土地理院長の承認を得て，同院発行の5万分の1地形図，数値地図50000(地図画像)，数値地図25000(土地条件)及び基盤地図情報を使用した。(承認番号 平22業使，第703号)」